

シンポジウム パレスチナのいま

——ガザとヨルダン川西岸2023—26

2023年10月、ガザの武装組織によるイスラエルへの越境攻撃の後、イスラエルによるガザ攻撃が始まって3年となる2026年10月、「パレスチナのいま」を考察するシンポジウムを開きます。ガザは2025年10月に停戦となり、パレスチナ関連の報道は減少していますが、イスラエルによるガザへの攻撃と封鎖は続いています。8割のインフラが破壊され、7万人以上の市民が殺害され、そのうち2万人が子どもという惨状となっています。

一方、ヨルダン川西岸でもイスラエル軍の侵攻、ユダヤ人入植者によるパレスチナの町村への襲撃が続き、北部では住民の大量避難も起きています。イスラエルによるガザ攻撃3年と停戦1年を機に、ガザと西岸の状況を、パレスチナに関ってきた研究者、ジャーナリスト、援助関係者がそれぞれの視点で報告し、議論します。

■第1部 ガザ（110分） 14:00～

▼パネリスト(報告順):

鈴木 啓之(東京大学特任准教授)

古居 みずえ(フォト・ジャーナリスト、映画監督)

二口 愛莉(配給団体Shkran / Education 4 Gaza Japan)

山村 順子(開発コンサルタント)

■第2部 ヨルダン川西岸（110分） 16:00～

▼パネリスト(報告順):

錦田 愛子(慶應義塾大学教授)

森 佑一(ドキュメンタリー写真家)

藤屋 リカ(慶應義塾大学准教授)

佐藤 真紀(国際協力アドバイザー)

▼司会・進行:川上 泰徳(中東ジャーナリスト)

2026年10月4日

参加費：無 料

14:00 ～ 18:00 (13:30 開場)

東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール

東京都目黒区駒場 3-8-1

※最寄り駅：駒場東大前駅 [東口2] 徒歩2分

主催：「パレスチナのいま」展実行委員会

共催：東京大学中東地域研究センター (UTCMS)

問合せ：東京大学中東地域研究センター (UTCMS)

03-5465-7724 / info@utcms.c.u-tokyo.ac.jp

